

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年1月28日から2021年1月18日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、実質的にユーロ建て高利回り社債等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	円コース	・DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(円) ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	ユーロコース	・DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ) ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド	ユーロ建ての高利回り社債等(円)ユーロ建て資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 (ユーロ)ユーロ建て資産については、為替ヘッジを行いません。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みません)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

欧州ハイ・イールド債券 オープン(毎月決算型) 円コース／ユーロコース

第97期(決算日 2019年2月18日) 第100期(決算日 2019年5月20日)

第98期(決算日 2019年3月18日) 第101期(決算日 2019年6月18日)

第99期(決算日 2019年4月18日) 第102期(決算日 2019年7月18日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)円コース／ユーロコース」は、2019年7月18日に第102期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間(第97期～第102期)の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

【円コース】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	百万円	
73期(2017年2月20日)	8,252	70	0.8	0.4	98.4	5,695	
74期(2017年3月21日)	8,204	70	0.3	0.4	98.4	6,130	
75期(2017年4月18日)	8,168	70	0.4	0.4	97.7	6,407	
76期(2017年5月18日)	8,217	70	1.5	0.3	98.1	6,965	
77期(2017年6月19日)	8,199	70	0.6	0.3	98.6	7,282	
78期(2017年7月18日)	8,106	70	△0.3	0.3	98.3	7,439	
79期(2017年8月18日)	8,104	70	0.8	0.2	98.5	7,659	
80期(2017年9月19日)	8,071	70	0.5	0.2	98.7	7,767	
81期(2017年10月18日)	8,068	70	0.8	0.2	98.4	7,985	
82期(2017年11月20日)	7,995	70	△0.0	0.3	98.3	7,975	
83期(2017年12月18日)	7,919	70	△0.1	0.3	98.5	7,926	
84期(2018年1月18日)	7,883	70	0.4	0.3	98.7	8,112	
85期(2018年2月19日)	7,755	70	△0.7	0.3	98.6	7,897	
86期(2018年3月19日)	7,692	70	0.1	0.3	98.6	7,747	
87期(2018年4月18日)	7,635	70	0.2	0.4	98.6	7,254	
88期(2018年5月18日)	7,531	70	△0.4	0.4	98.2	7,145	
89期(2018年6月18日)	7,430	70	△0.4	0.4	98.7	6,882	
90期(2018年7月18日)	7,334	70	△0.3	0.3	98.6	6,738	
91期(2018年8月20日)	7,289	70	0.3	0.4	98.5	6,592	
92期(2018年9月18日)	7,236	70	0.2	0.4	98.7	6,354	
93期(2018年10月18日)	7,125	70	△0.6	0.4	97.5	6,081	
94期(2018年11月19日)	6,901	70	△2.2	0.5	98.0	5,572	
95期(2018年12月18日)	6,708	70	△1.8	0.3	98.5	5,167	
96期(2019年1月18日)	6,710	70	1.1	0.5	98.3	4,961	
97期(2019年2月18日)	6,699	70	0.9	0.6	98.2	4,699	
98期(2019年3月18日)	6,758	50	1.6	0.6	97.8	4,509	
99期(2019年4月18日)	6,848	50	2.1	0.6	97.8	4,416	
100期(2019年5月20日)	6,741	50	△0.8	0.6	98.1	4,358	
101期(2019年6月18日)	6,684	50	△0.1	0.6	98.3	4,328	
102期(2019年7月18日)	6,732	50	1.5	0.4	98.5	4,452	

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは運動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第97期	(期 首) 2019年 1 月 18日	円	6,710	% —		% 0.5	% 98.3
	1 月末		6,734	0.4		0.5	98.1
	(期 末) 2019年 2 月 18日		6,769	0.9		0.6	98.2
第98期	(期 首) 2019年 2 月 18日		6,699	—		0.6	98.2
	2 月末		6,769	1.0		0.6	98.0
	(期 末) 2019年 3 月 18日		6,808	1.6		0.6	97.8
第99期	(期 首) 2019年 3 月 18日		6,758	—		0.6	97.8
	3 月末		6,778	0.3		0.6	98.4
	(期 末) 2019年 4 月 18日		6,898	2.1		0.6	97.8
第100期	(期 首) 2019年 4 月 18日		6,848	—		0.6	97.8
	4 月末		6,847	△0.0		0.6	98.2
	(期 末) 2019年 5 月 20日		6,791	△0.8		0.6	98.1
第101期	(期 首) 2019年 5 月 20日		6,741	—		0.6	98.1
	5 月末		6,708	△0.5		0.6	97.7
	(期 末) 2019年 6 月 18日		6,734	△0.1		0.6	98.3
第102期	(期 首) 2019年 6 月 18日		6,684	—		0.6	98.3
	6 月末		6,759	1.1		0.6	98.4
	(期 末) 2019年 7 月 18日		6,782	1.5		0.4	98.5

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

【ユーロコース】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率				
73期(2017年2月20日)	円 7,825	円 100	% 0.1	% 0.4	% 98.0	百万円 19,582	
74期(2017年3月21日)	7,819	100	1.2	0.4	98.2	20,855	
75期(2017年4月18日)	7,426	100	△3.7	0.4	98.0	21,086	
76期(2017年5月18日)	7,935	100	8.2	0.4	97.9	24,156	
77期(2017年6月19日)	7,873	100	0.5	0.3	98.6	25,478	
78期(2017年7月18日)	8,061	100	3.7	0.3	98.6	25,683	
79期(2017年8月18日)	8,034	100	0.9	0.2	98.4	25,045	
80期(2017年9月19日)	8,230	100	3.7	0.2	98.2	28,259	
81期(2017年10月18日)	8,125	100	△0.1	0.2	98.4	29,765	
82期(2017年11月20日)	8,051	100	0.3	0.3	98.6	31,136	
83期(2017年12月18日)	7,938	100	△0.2	0.3	98.3	31,894	
84期(2018年1月18日)	8,043	100	2.6	0.3	98.3	33,649	
85期(2018年2月19日)	7,702	100	△3.0	0.3	98.4	33,614	
86期(2018年3月19日)	7,494	100	△1.4	0.3	98.2	34,301	
87期(2018年4月18日)	7,528	100	1.8	0.3	98.7	35,795	
88期(2018年5月18日)	7,295	100	△1.8	0.3	98.5	35,371	
89期(2018年6月18日)	7,039	100	△2.1	0.3	98.5	35,109	
90期(2018年7月18日)	7,098	100	2.3	0.2	97.3	37,011	
91期(2018年8月20日)	6,722	100	△3.9	0.2	98.7	36,909	
92期(2018年9月18日)	6,892	100	4.0	0.2	98.8	37,924	
93期(2018年10月18日)	6,669	100	△1.8	0.3	98.5	35,548	
94期(2018年11月19日)	6,385	100	△2.8	0.3	98.3	33,552	
95期(2018年12月18日)	6,149	100	△2.1	0.2	98.5	31,598	
96期(2019年1月18日)	5,923	100	△2.0	0.3	98.4	29,798	
97期(2019年2月18日)	5,893	100	1.2	0.3	98.3	28,251	
98期(2019年3月18日)	6,031	50	3.2	0.3	98.2	27,510	
99期(2019年4月18日)	6,112	50	2.2	0.3	98.5	26,179	
100期(2019年5月20日)	5,827	50	△3.8	0.4	98.5	24,345	
101期(2019年6月18日)	5,742	50	△0.6	0.4	98.6	23,535	
102期(2019年7月18日)	5,749	50	1.0	0.3	98.4	23,561	

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは運動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第97期	(期 首) 2019年 1 月 18日	円	5,923	% —		% 0.3	% 98.4
	1 月末		5,996	1.2		0.3	98.5
	(期 末) 2019年 2 月 18日		5,993	1.2		0.3	98.3
第98期	(期 首) 2019年 2 月 18日		5,893	—		0.3	98.3
	2 月末		6,034	2.4		0.3	98.4
	(期 末) 2019年 3 月 18日		6,081	3.2		0.3	98.2
第99期	(期 首) 2019年 3 月 18日		6,031	—		0.3	98.2
	3 月末		5,950	△1.3		0.3	98.0
	(期 末) 2019年 4 月 18日		6,162	2.2		0.3	98.5
第100期	(期 首) 2019年 4 月 18日		6,112	—		0.3	98.5
	4 月末		6,006	△1.7		0.4	98.4
	(期 末) 2019年 5 月 20日		5,877	△3.8		0.4	98.5
第101期	(期 首) 2019年 5 月 20日		5,827	—		0.4	98.5
	5 月末		5,760	△1.1		0.4	98.7
	(期 末) 2019年 6 月 18日		5,792	△0.6		0.4	98.6
第102期	(期 首) 2019年 6 月 18日		5,742	—		0.4	98.6
	6 月末		5,831	1.5		0.4	98.6
	(期 末) 2019年 7 月 18日		5,799	1.0		0.3	98.4

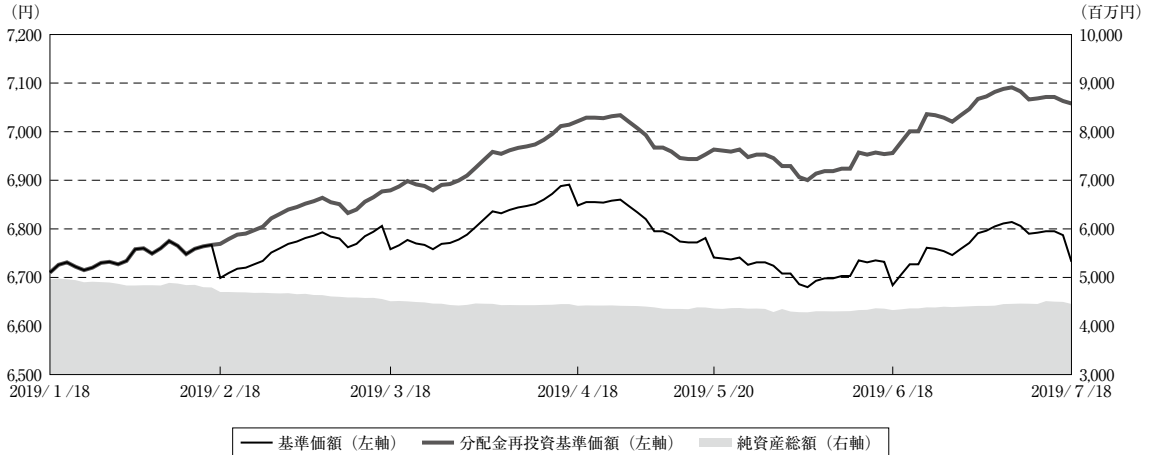
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2019年1月19日～2019年7月18日）

【円コース】



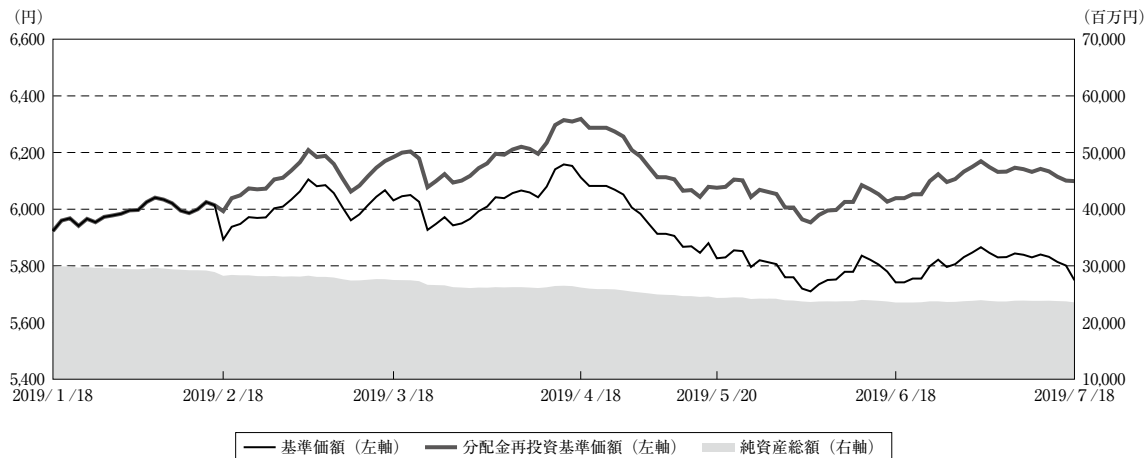
第97期首：6,710円

第102期末：6,732円（既払分配金（税引前）：320円）

騰落率：5.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年1月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【ユーロコース】



第97期首：5,923円

第102期末：5,749円（既払分配金（税引前）：350円）

騰落率：3.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年1月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円／ユーロ）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・欧州中央銀行（ECB）や米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和に前向きな姿勢を強めたことなどを背景に、相対的に利回りの高い欧州ハイ・イールド社債市場に資金が流入し、ハイ・イールド社債相場が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・保有債券の高水準な利息収入の獲得がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・米中の貿易協議が難航し、貿易摩擦の長期化による世界景気に及ぼす悪影響への懸念が強まった局面では、欧州ハイ・イールド社債市場から資金が流出し、ハイ・イールド社債相場が下落したことがマイナスに影響しました。
- ・ユーロコースにおいては、為替市場で、ユーロが対円で下落したことがマイナスに影響しました。

投資環境

（2019年1月19日～2019年7月18日）

<ユーロ圏の国債市場>

欧州債券市場の主要指標であるドイツの10年国債利回り（以下、長期金利）は低下しました（価格は上昇）。米中貿易摩擦の長期化や世界景気の不透明感を背景に、主要中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を強めたことを受けて、長期金利は低下しました。

<欧州ハイ・イールド社債市場>

欧州ハイ・イールド社債市場は、世界的な株式市場の上昇を背景にリスク選好的な動きが強まる中、主要中央銀行による金融緩和に前向きな姿勢などが相対的に高い利回りの欧州ハイ・イールド社債市場への資金流入に繋がり、国債との利回り差（スプレッド）が縮小しました。

<為替市場>

為替市場は、米国を中心とした貿易関連の政策動向に対する警戒感や世界景気の不透明感などが懸念材料となり、安全資産としての円買いが優勢となったことから、ユーロが対円で軟調に推移しました。

<国内短期金融市場>

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続を背景に、短期金利がマイナス圏での推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2019年1月19日～2019年7月18日）

【円コース】

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）」につきましては、組入比率を高位に維持しました。

【ユーロコース】

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」につきましては、組入比率を高位に維持しました。

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円／ユーロ）

国別の運用状況につきましては、経済回復が相対的に堅調な国の企業を中心に組み入れを行いました。セクター別では、グローバルに展開する企業の多い素材セクターのほか、ディフェンシブ性の高い電気通信サービスやメディアなどのセクターを引き続き高めの配分としました。格付け別では、相対的に割安感が見られるB格の債券を市場割合に対して多めに組み入れました。相場が弱含んだ局面では割安感の出てきた既発債を購入した一方、相場の上昇局面においては一部で利益を確定するなどの売却を行い、新発債の購入等も実施しました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行い、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年1月19日～2019年7月18日)

【円コース】／【ユーロコース】

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

(2019年1月19日～2019年7月18日)

各ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、「円コース」は第97期の決算期に、基準価額や分配金利回りの水準等を勘案し、1万口当たり70円（税引前）の収益分配を行いました。第98期から第102期までの決算期は、基準価額下落の抑制や安定分配の継続を目指すため、分配金額を引き下げそれぞれ1万口当たり50円（税引前）の収益分配を行いました。当作成期間中の収益分配金の合計額は、320円（税引前）となりました。「ユーロコース」は基準価額や分配金利回りの水準等を勘案し、第97期の決算期に、1万口当たり100円（税引前）の収益分配を行いました。第98期から第102期までの決算期は、基準価額下落の抑制や安定分配の継続を目指すため、分配金額を引き下げそれぞれ1万口当たり50円（税引前）の収益分配を行いました。当作成期間中の収益分配金の合計額は、350円（税引前）となりました。

【円コース】

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	70 1.034%	50 0.734%	50 0.725%	50 0.736%	50 0.743%	50 0.737%
当期の収益	70	50	50	50	50	50
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	5,740	5,776	5,813	5,849	5,885	5,905

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

【ユーロコース】

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 1.669%	50 0.822%	50 0.811%	50 0.851%	50 0.863%	50 0.862%
当期の収益	45	47	47	43	44	35
当期の収益以外	54	2	2	6	5	14
翌期繰越分配対象額	3,706	3,704	3,701	3,695	3,689	3,675

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【円コース】

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

【ユーロコース】

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円／ユーロ）

（投資環境の見通し）

米中の貿易交渉の動向やユーロ圏の景気減速が懸念される中、ECBは緩和的な金融政策姿勢を続けると想定しています。また、英国の欧州連合（EU）離脱問題を巡る不透明感や、ユーロ圏の政治リスク等は残存することから、欧州の債券利回りは低位で推移すると考えています。

欧州ハイ・イールド社債市場については、世界的に低金利環境が長期化する中、相対的な利回りの高さが魅力となり、市場への資金流入が続くと見込まれます。また、ECBによる金融緩和姿勢の継続も市場を下支えする要因になると考えており、割安度が増した局面では投資機会として捉えていきます。

為替市場においては、日銀による金融緩和策の継続等を背景に、中長期的にはユーロ高円安の流れが進むものと見ています。短期的には、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、ユーロ圏の景気減速等を背景としたリスク回避的な動きなどが、ユーロ安円高要因として考えられます。

（運用方針）

業種間の投資妙味や景気への感応度を考慮し、化学や運輸などへのセクター配分を選好する一方、小売セクターへの配分は抑える方針です。格付け別では、相対的な割安感が引き続き見られるB格以下の債券を積極的に組み入れる方針です。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

（投資環境の見通し）

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

（運用方針）

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

【円コース】

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年 1 月19日～2019年 7 月18日)

項 目	第97期～第102期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	34 (14) (18) (1)	0.498 (0.214) (0.268) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.007 (0.006) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	34	0.505	
作成期間中の平均基準価額は、6,765円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

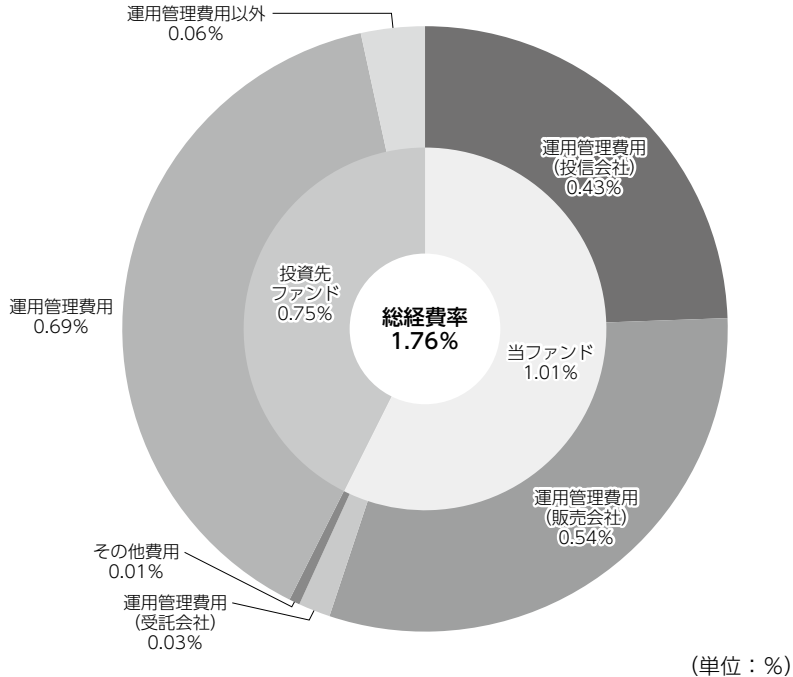
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (①+②+③)	1.76
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年1月19日～2019年7月18日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄		第 97 期 ～ 第 102 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ ボンド・マスター・ファンド (円)	93,009	340,000	197,314	734,000

(注) 金額は受渡代金。
(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月19日～2019年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年7月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 96 期 末	第 102 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ ボンド・マスター・ファンド (円)	1,311,743	1,207,438	4,385,415	98.5
合 計		1,311,743	1,207,438	4,385,415	98.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第 96 期 末	第 102 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
マネー・リクイディティ・マザーファンド		26,700	26,700	26,748

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年7月18日現在)

項 目	第 102 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 4,385,415	% 96.8
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	26,748	0.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	117,883	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	4,530,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2019年2月18日現在	2019年3月18日現在	2019年4月18日現在	2019年5月20日現在	2019年6月18日現在	2019年7月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,859,932,071	4,643,886,079	4,468,039,399	4,465,125,542	4,422,749,084	4,530,046,170
コール・ローン等	168,029,654	155,878,235	121,568,417	163,666,761	140,469,960	117,475,773
投資信託受益証券(評価額)	4,615,711,189	4,410,836,929	4,319,317,418	4,274,262,427	4,255,135,457	4,385,415,490
マネー・リクイディティ・マザーファンド(評価額)	26,753,715	26,753,715	26,751,045	26,751,045	26,751,045	26,748,375
未収入金	49,000,000	50,000,000	—	—	—	—
その他未収収益	437,513	417,200	402,519	445,309	392,622	406,532
(B) 負債	160,530,321	134,106,739	51,251,830	106,195,570	94,103,980	77,134,766
未払金	—	—	—	50,000,000	52,000,000	—
未払収益分配金	49,106,651	33,367,908	32,248,464	32,329,981	32,380,081	33,075,050
未払解約金	107,209,698	97,119,544	15,164,479	19,952,227	6,233,123	40,369,179
未払信託報酬	4,159,732	3,572,783	3,789,376	3,862,805	3,445,631	3,642,881
未払利息	211	127	235	324	254	226
その他未払費用	54,029	46,377	49,276	50,233	44,891	47,430
(C) 純資産総額(A-B)	4,699,401,750	4,509,779,340	4,416,787,569	4,358,929,972	4,328,645,104	4,452,911,404
元本	7,015,235,864	6,673,581,647	6,449,692,827	6,465,996,269	6,476,016,292	6,615,010,084
次期繰越損益金	△2,315,834,114	△2,163,802,307	△2,032,905,258	△2,107,066,297	△2,147,371,188	△2,162,098,680
(D) 受益権総口数	7,015,235,864口	6,673,581,647口	6,449,692,827口	6,465,996,269口	6,476,016,292口	6,615,010,084口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,699円	6,758円	6,848円	6,741円	6,684円	6,732円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第97期2,315,834,114円、第98期2,163,802,307円、第99期2,032,905,258円、第100期2,107,066,297円、第101期2,147,371,188円、第102期2,162,098,680円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第97期0.6699円、第98期0.6758円、第99期0.6848円、第100期0.6741円、第101期0.6684円、第102期0.6732円です。

(注) 当ファンドの第97期首元本額は7,393,701,733円、第97～102期中追加設定元本額は971,646,135円、第97～102期中一部解約元本額は1,750,337,784円です。

○損益の状況

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	62,627,816	59,587,502	58,117,880	58,080,986	58,540,476	47,681,441
受取配当金	61,839,624	58,907,777	57,386,461	57,335,314	57,874,549	46,979,808
受取利息	59	95	22	△ 1	－	1
その他収益金	793,097	682,012	735,919	750,970	671,274	707,049
支払利息	△ 4,964	△ 2,382	△ 4,522	△ 5,297	△ 5,347	△ 5,417
(B) 有価証券売買損益	△ 18,808,153	15,608,927	35,483,943	△ 90,369,171	△ 59,540,225	17,581,525
売買益	1,086,624	17,160,581	36,476,546	691,592	549,460	18,277,904
売買損	△ 19,894,777	△ 1,551,654	△ 992,603	△ 91,060,763	△ 60,089,685	△ 696,379
(C) 信託報酬等	△ 4,213,909	△ 3,619,290	△ 3,838,987	△ 3,913,215	△ 3,490,639	△ 3,690,460
(D) 当期損益金(A+B+C)	39,605,754	71,577,139	89,762,836	△ 36,201,400	△ 4,490,388	61,572,506
(E) 前期繰越損益金	△ 1,134,057,521	△ 1,076,692,568	△ 986,323,992	△ 914,979,085	△ 944,880,136	△ 964,059,043
(F) 追加信託差損益金	△ 1,172,275,696	△ 1,125,318,970	△ 1,104,095,638	△ 1,123,555,831	△ 1,165,620,583	△ 1,226,537,093
(配当等相当額)	(2,845,518,979)	(2,718,301,818)	(2,645,695,534)	(2,672,181,371)	(2,721,791,032)	(2,824,035,836)
(売買損益相当額)	(△ 4,017,794,675)	(△ 3,843,620,788)	(△ 3,749,791,172)	(△ 3,795,737,202)	(△ 3,887,411,615)	(△ 4,050,572,929)
(G) 計(D+E+F)	△ 2,266,727,463	△ 2,130,434,399	△ 2,000,656,794	△ 2,074,736,316	△ 2,114,991,107	△ 2,129,023,630
(H) 収益分配金	△ 49,106,651	△ 33,367,908	△ 32,248,464	△ 32,329,981	△ 32,380,081	△ 33,075,050
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,315,834,114	△ 2,163,802,307	△ 2,032,905,258	△ 2,107,066,297	△ 2,147,371,188	△ 2,162,098,680
追加信託差損益金	△ 1,172,275,696	△ 1,125,318,970	△ 1,104,095,638	△ 1,123,555,831	△ 1,165,620,583	△ 1,226,537,093
(配当等相当額)	(2,845,519,271)	(2,718,301,908)	(2,645,695,765)	(2,672,181,496)	(2,721,791,499)	(2,824,036,350)
(売買損益相当額)	(△ 4,017,794,967)	(△ 3,843,620,878)	(△ 3,749,791,403)	(△ 3,795,737,327)	(△ 3,887,412,082)	(△ 4,050,573,443)
分配準備積立金	1,181,586,766	1,136,878,417	1,104,158,956	1,109,849,494	1,089,647,748	1,082,247,134
繰越損益金	△ 2,325,145,184	△ 2,175,361,754	△ 2,032,968,576	△ 2,093,359,960	△ 2,071,398,353	△ 2,017,808,721

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(a) 配当等収益(費用控除後)	58,440,063円	56,743,138円	55,760,696円	54,195,919円	55,075,349円	45,008,088円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,845,519,271円	2,718,301,908円	2,645,695,765円	2,672,181,496円	2,721,791,499円	2,824,036,350円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	1,172,253,354円	1,113,503,187円	1,080,646,724円	1,087,983,556円	1,066,952,480円	1,070,314,096円
分配対象収益(a+b+c+d)	4,076,212,688円	3,888,548,233円	3,782,103,185円	3,814,360,971円	3,843,819,328円	3,939,358,534円
分配対象収益(1万口当たり)	5,810円	5,826円	5,863円	5,899円	5,935円	5,955円
分配金額	49,106,651円	33,367,908円	32,248,464円	32,329,981円	32,380,081円	33,075,050円
分配金額(1万口当たり)	70円	50円	50円	50円	50円	50円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
1万口当たり分配金（税引前）	70円	50円	50円	50円	50円	50円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

【ユーロコース】

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年 1 月19日～2019年 7 月18日)

項 目	第97期～第102期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	30 (13) (16) (1)	0.498 (0.214) (0.268) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	30	0.504	
作成期間中の平均基準価額は、5,929円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

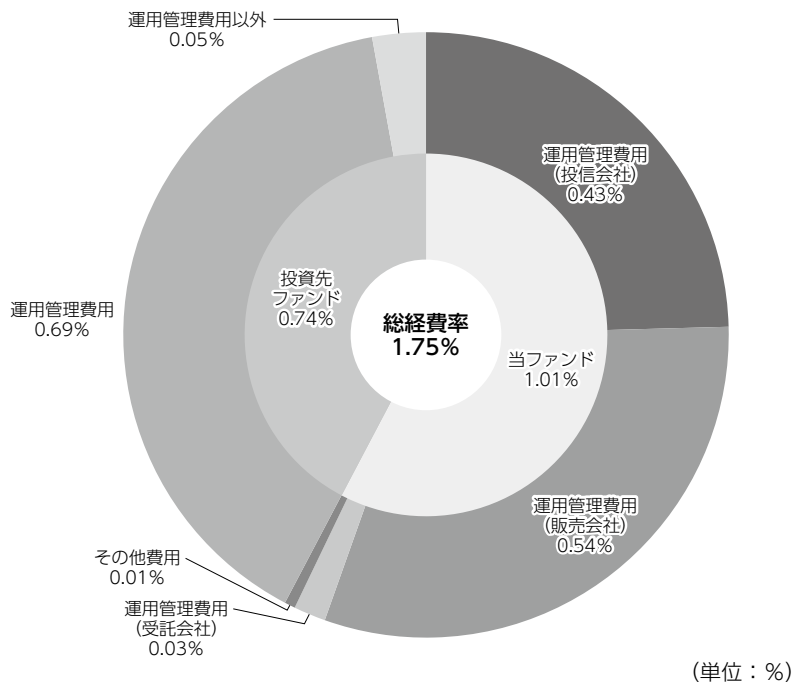
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率 (①+②+③)	1.75
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年1月19日～2019年7月18日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄		第 97 期 ～ 第 102 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）	口 14,446	千円 86,000	口 977,852	千円 5,951,000

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2019年1月19日～2019年7月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年7月18日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 96 期 末	第 102 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）	口 4,886,982	口 3,923,576	千円 23,196,186	% 98.4
合 計		4,886,982	3,923,576	23,196,186	98.4

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第 96 期 末	第 102 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
マネー・リクイディティ・マザーファンド		千口 94,638	千口 94,638	千円 94,808

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年7月18日現在)

項 目	第 102 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 23,196,186	% 96.8
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	94,808	0.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	671,773	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	23,962,767	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2019年2月18日現在	2019年3月18日現在	2019年4月18日現在	2019年5月20日現在	2019年6月18日現在	2019年7月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	29,497,385,080	28,246,400,419	26,631,747,229	24,804,781,742	23,923,089,126	23,962,767,747
コール・ローン等	1,462,153,612	1,044,736,314	638,780,583	682,533,013	589,114,669	669,597,759
投資信託受益証券(評価額)	27,777,750,278	27,004,306,452	25,789,752,362	23,970,884,756	23,210,984,943	23,196,186,618
マネー・リクイディティ・マザーファンド(評価額)	94,827,464	94,827,464	94,818,000	94,818,000	94,818,000	94,808,536
未収入金	160,000,000	100,000,000	106,000,000	54,000,000	26,000,000	-
その他未収収益	2,653,726	2,530,189	2,396,284	2,545,973	2,171,514	2,174,834
(B) 負債	1,246,149,435	736,204,373	452,246,781	459,512,628	387,982,255	401,058,700
未払収益分配金	479,415,703	228,076,435	214,155,026	208,888,907	204,934,625	204,914,953
未払解約金	741,264,441	486,297,334	215,226,620	228,103,291	163,730,204	176,342,792
未払信託報酬	25,140,801	21,549,484	22,570,253	22,230,090	19,068,795	19,545,506
未払利息	1,844	855	1,239	1,351	1,069	1,291
その他未払費用	326,646	280,265	293,643	288,989	247,562	254,158
(C) 純資産総額(A-B)	28,251,235,645	27,510,196,046	26,179,500,448	24,345,269,114	23,535,106,871	23,561,709,047
元本	47,941,570,345	45,615,287,097	42,831,005,397	41,777,781,471	40,986,925,151	40,982,990,737
次期繰越損益金	△19,690,334,700	△18,105,091,051	△16,651,504,949	△17,432,512,357	△17,451,818,280	△17,421,281,690
(D) 受益権総口数	47,941,570,345口	45,615,287,097口	42,831,005,397口	41,777,781,471口	40,986,925,151口	40,982,990,737口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,893円	6,031円	6,112円	5,827円	5,742円	5,749円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第97期19,690,334,700円、第98期18,105,091,051円、第99期16,651,504,949円、第100期17,432,512,357円、第101期17,451,818,280円、第102期17,421,281,690円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第97期0.5893円、第98期0.6031円、第99期0.6112円、第100期0.5827円、第101期0.5742円、第102期0.5749円です。

(注) 当ファンドの第97期首元本額は50,310,800,172円、第97～102期中追加設定元本額は6,860,433,605円、第97～102期中一部解約元本額は16,188,243,040円です。

○損益の状況

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	236,951,492	221,173,298	209,505,067	204,614,326	200,043,274	158,684,061
受取配当金	232,173,054	217,079,383	205,164,809	200,326,516	196,345,683	154,901,516
受取利息	304	808	117	1	△ 1	△ 2
その他収益金	4,810,596	4,112,633	4,367,414	4,312,944	3,720,867	3,809,484
支払利息	△ 32,462	△ 19,526	△ 27,273	△ 25,135	△ 23,275	△ 26,937
(B) 有価証券売買損益	112,769,434	636,693,722	376,291,840	△ 1,156,268,746	△ 321,917,023	83,217,965
売買益	129,482,720	672,882,769	387,505,498	23,254,000	8,873,989	91,172,654
売買損	△ 16,713,286	△ 36,189,047	△ 11,213,658	△ 1,179,522,746	△ 330,791,012	△ 7,954,689
(C) 信託報酬等	△ 25,468,594	△ 21,830,918	△ 22,866,236	△ 22,519,882	△ 19,316,942	△ 19,800,586
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	324,252,332	836,036,102	562,930,671	△ 974,174,302	△ 141,190,691	222,101,440
(E) 前期繰越損益金	△ 7,153,983,911	△ 6,444,158,515	△ 5,386,154,784	△ 4,851,168,958	△ 5,752,823,600	△ 5,859,630,458
(F) 追加信託差損益金	△ 12,381,187,418	△ 12,268,892,203	△ 11,614,125,810	△ 11,398,280,190	△ 11,352,869,284	△ 11,578,837,719
(配当等相当額)	(18,029,514,228)	(16,910,663,634)	(15,867,478,847)	(15,466,115,307)	(15,147,811,103)	(15,124,274,453)
(売買損益相当額)	(△30,410,701,646)	(△29,179,555,837)	(△27,481,604,657)	(△26,864,395,497)	(△26,500,680,387)	(△26,703,112,172)
(G) 計 (D + E + F)	△ 19,210,918,997	△ 17,877,014,616	△ 16,437,349,923	△ 17,223,623,450	△ 17,246,883,655	△ 17,216,366,737
(H) 収益分配金	△ 479,415,703	△ 228,076,435	△ 214,155,026	△ 208,888,907	△ 204,934,625	△ 204,914,953
次期繰越損益金 (G + H)	△ 19,690,334,700	△ 18,105,091,051	△ 16,651,504,949	△ 17,432,512,357	△ 17,451,818,280	△ 17,421,281,690
追加信託差損益金	△ 12,640,821,298	△ 12,281,336,404	△ 11,626,860,139	△ 11,424,975,547	△ 11,376,987,542	△ 11,637,977,345
(配当等相当額)	(17,769,881,582)	(16,898,220,941)	(15,854,745,155)	(15,439,420,348)	(15,123,693,877)	(15,065,136,314)
(売買損益相当額)	(△30,410,702,880)	(△29,179,557,345)	(△27,481,605,294)	(△26,864,395,895)	(△26,500,681,419)	(△26,703,113,659)
繰越損益金	△ 7,049,513,402	△ 5,823,754,647	△ 5,024,644,810	△ 6,007,536,810	△ 6,074,830,738	△ 5,783,304,345

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(a) 配当等収益(費用控除後)	219,781,823円	215,632,234円	201,420,697円	182,193,550円	180,816,367円	145,775,327円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	18,029,515,462円	16,910,665,142円	15,867,479,484円	15,466,115,705円	15,147,812,135円	15,124,275,940円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
分配対象収益(a + b + c + d)	18,249,297,285円	17,126,297,376円	16,068,900,181円	15,648,309,255円	15,328,628,502円	15,270,051,267円
分配対象収益(1万口当たり)	3,806円	3,754円	3,751円	3,745円	3,739円	3,725円
分配金額	479,415,703円	228,076,435円	214,155,026円	208,888,907円	204,934,625円	204,914,953円
分配金額(1万口当たり)	100円	50円	50円	50円	50円	50円

○分配金のお知らせ

	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
1万口当たり分配金（税引前）	100円	50円	50円	50円	50円	50円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

【円コース】 / 【ユーロコース】

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年7月18日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（146,031千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第 102 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	100,000 (100,000)	100,457 (100,457)	68.7 (68.7)	— (—)	— (—)	— (—)	68.7 (68.7)
合 計	100,000 (100,000)	100,457 (100,457)	68.7 (68.7)	— (—)	— (—)	— (—)	68.7 (68.7)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	第 102 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円	
第91回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	50,000	50,179	2019/10/31
第95回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	50,000	50,277	2019/12/27
合 計			100,000	100,457	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

〈参考情報〉

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド

〈当ファンドの仕組みは次の通りです〉

商品分類	ルクセンブルク籍の契約型投資信託
表示通貨	円
運用会社(投資顧問会社)	DWS インベストメントGmbH
運用方法	①主に欧州諸国のユーロ建のハイ・イールド債券等への投資を通じて、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ②ユーロ建以外の資産へ投資を行う場合はユーロで為替ヘッジすることを原則とします。
通貨クラス	(円) ユーロ建資産（ユーロ建以外の資産については、ユーロで為替ヘッジをすることを原則とします。）について、原則として円で為替ヘッジを行う円建投資信託証券を発行します。 (ユーロ) ユーロ建資産（ユーロ建以外の資産については、ユーロで為替ヘッジをすることを原則とします。）について対円での為替ヘッジを行わない円建投資信託証券を発行します。 ユーロ建資産（ユーロ建以外の資産については、ユーロで為替ヘッジをすることを原則とします。）について、上記以外の通貨で為替ヘッジを行う通貨クラスもあります。
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	運用報酬：実質年率0.70%以内 ※DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの信託報酬率は年率0.90%以内ですが、その内、年率0.20%は各ファンドに対して払い戻されるため、実質的な信託報酬率は年率0.70%以内となります。 その他、組入有価証券の売買委託手数料、管理報酬、保管報酬、ヘッジに係る報酬、租税等がかかります。

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド

以下は、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの監査報告書の一部を、岡三アセットマネジメントが翻訳したものです。岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

収入および支出の計算書

自 2018年1月1日 至 2018年12月31日

I. 収益		
1. 受取利息 (有価証券、源泉税控除前)	EUR	52,579,099.36
2. 受取利息 (流動資産、源泉税控除前)	EUR	139,203.07
3. 外国源泉税 (控除)	EUR △	36,201.10
収益合計	EUR	52,682,101.33
II. 費用		
1. 支払利息	EUR △	162,639.54
2. 運用報酬	EUR △	9,461,229.96
内訳:		
一括報酬	EUR △	9,321,221.67
事務管理報酬	EUR △	140,008.29
3. 預託費用	EUR △	40,538.50
4. 監査費用	EUR △	30,486.85
5. 年次税	EUR △	100,025.83
6. その他費用	EUR △	347,475.84
費用合計	EUR △	10,142,396.52
III. 純投資収益	EUR	42,539,704.81
IV. 売却取引		
1. 実現利益	EUR	154,432,558.58
2. 実現損失	EUR △	167,003,035.70
譲渡益/譲渡損	EUR △	12,570,477.12
V. 当年度実現利益	EUR	29,969,227.69
1. 未実現評価益	EUR	40,665,634.71
2. 未実現評価損	EUR △	126,332,752.72
VI. 当年度未実現利益	EUR △	85,667,118.01
VII. 当年度純損益/純損失	EUR	55,697,890.32

DWS Euro High Yield Bond Master Fund

Description	Count/ units/ currency	Quantity/ principal amount	Purchases/ additions in the reporting period	Sales/ disposals	Currency	Market price	Total market value in EUR	% of net assets
Interest-bearing securities								
3.625 % Matterhorn Telecom SA -Reg- (MTN) 2015/2022	CHF	8 390 000			%	97.809	7 308 116.68	0.77
5.75 % ABN AMRO Bank NV 2015/perpetual *	EUR	2 700 000			%	102.269	2 761 263.00	0.29
4.375 % Ball Corp. 2015/2023	EUR	2 000 000			%	111.117	2 222 340.00	0.23
4.439 % Galapagos SA/Luxembourg -Reg- (MTN) 2014/2021 *	EUR	2 664 000			%	70.262	1 871 779.68	0.20
6.25 % OMV AG 2015/perpetual *	EUR	4 630 000			%	114.32	5 293 016.00	0.56
4.50 % Repsol International Finance BV 2015/2075 *	EUR	1 000 000		1 000 000	%	102.446	1 024 460.00	0.11
6.25 % Synlab BondCo. PLC (MTN) 2015/2022	EUR	2 000 000	2 000 000		%	102.051	2 041 020.00	0.22
Unlisted securities							3 454 049.75	0.36
Interest-bearing securities								
4.25 % Naviera Armas SA -Reg- (MTN) 2017/2024 *	EUR	3 650 000			%	94.632	3 454 049.75	0.36
Total securities portfolio							913 172 925.47	96.22
Derivatives								
(Minus signs denote short positions)								
Derivatives on individual securities							150.00	0.00
Warrants on securities								
Equity warrants								
Novasep Holding 31/05/2019	Count	1 500 000			EUR	0.00	150.00	0.00

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

第9期 運用状況のご報告

決算日：2019年7月17日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率				
	円	%		%	%	百万円
5期(2015年7月17日)	10,036	0.0		93.0	—	519
6期(2016年7月19日)	10,036	0.0		66.9	—	165
7期(2017年7月18日)	10,031	△0.0		89.5	—	167
8期(2018年7月17日)	10,025	△0.1		64.8	—	155
9期(2019年7月17日)	10,018	△0.1		68.7	—	146

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

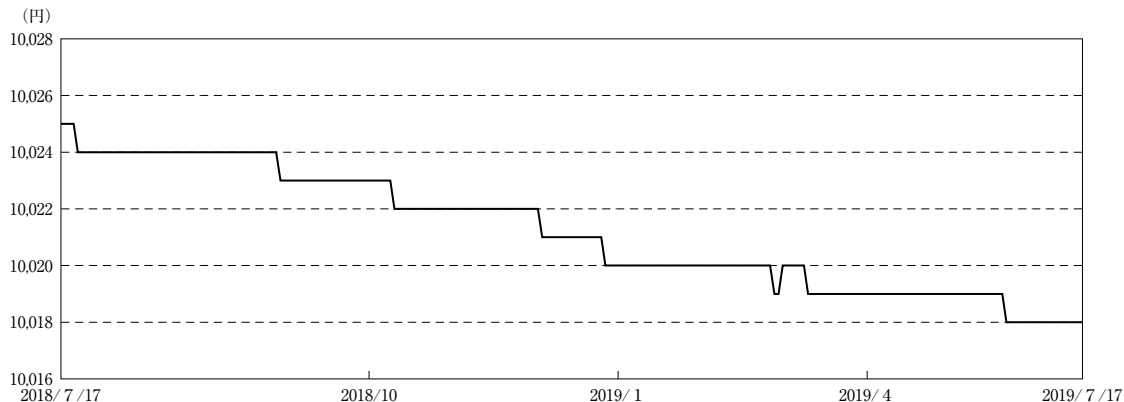
年月日	基準	価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率			
(期首) 2018年7月17日	円	%		%	%
7月末	10,024	△0.0		64.8	—
8月末	10,024	△0.0		96.8	—
9月末	10,024	△0.0		96.7	—
10月末	10,024	△0.0		96.6	—
11月末	10,023	△0.0		64.3	—
12月末	10,022	△0.0		96.6	—
2019年1月末	10,022	△0.0		64.5	—
2月末	10,020	△0.0		96.8	—
3月末	10,020	△0.0		96.7	—
4月末	10,020	△0.0		96.4	—
5月末	10,019	△0.1		96.3	—
6月末	10,019	△0.1		96.2	—
6月末	10,018	△0.1		96.1	—
(期末) 2019年7月17日	10,018	△0.1		68.7	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2018年7月18日～2019年7月17日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことが、マイナス要因となりました。
- ・運用資金に対するマイナス金利の適用がマイナス要因となりました。

投資環境

(2018年7月18日～2019年7月17日)

短期金融市場では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続していることを受けて、期初から1年国債利回りがマイナス圏で推移する展開となりました。1年国債利回りは-0.1%台前半で推移した後、グローバル景気に対する先行き不透明感が強まったことから2018年9月下旬以降低下し、2019年2月には、黒田日銀総裁の追加金融緩和を容認する発言を受け-0.19%近辺となりました。その後、1年国債利回りは上下動を繰り返し、-0.18%近辺で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年7月18日～2019年7月17日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年7月18日～2019年7月17日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

〇1万口当たりの費用明細

(2018年7月18日～2019年7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,021円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2018年7月18日～2019年7月17日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	特殊債券	151,929	10,047 (140,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月18日～2019年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年7月17日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	千円 100,000 (100,000)	千円 100,460 (100,460)	% 68.7 (68.7)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 68.7 (68.7)
合 計	100,000 (100,000)	100,460 (100,460)	68.7 (68.7)	— (—)	— (—)	— (—)	68.7 (68.7)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円	
第91回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	50,000	50,181	2019/10/31
第95回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	50,000	50,278	2019/12/27
合 計			100,000	100,460	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年7月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 100,460	% 68.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	45,835	31.3
投 資 信 託 財 産 総 額	146,295	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	146,295,202 円
コール・ローン等	45,249,767
公社債(評価額)	100,460,527
未収利息	584,908
(B) 負債	148
未払利息	88
その他未払費用	60
(C) 純資産総額(A-B)	146,295,054
元本	146,031,004
次期繰越損益金	264,050
(D) 受益権総口数	146,031,004口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,018円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0018円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は154,714,126円、期中追加設定元本額は1,296,918円、期中一部解約元本額は9,980,040円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	13,944,816円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジなし)	5,977,600円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	2,369,068円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	1,295,140円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	603,537円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジあり)	502,340円

○損益の状況 (2018年7月18日～2019年7月17日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,859,063 円
受取利息	1,866,326
支払利息	△ 7,263
(B) 有価証券売買損益	△1,960,974
売買益	852
売買損	△1,961,826
(C) その他費用等	△ 546
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 102,457
(E) 前期繰越損益金	383,385
(F) 追加信託差損益金	3,082
(G) 解約差損益金	△ 19,960
(H) 計(D+E+F+G)	264,050
次期繰越損益金(H)	264,050

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。